



令和9年度（2027年度）末に  
**めざす状態**  
（施策目標）

子どもたちの健やかな成長のための環境  
が整っている

施策の主な方向性

(1) 子どもたちの健やかな成長を支える

① 就学前教育・保育の充実

地域に開かれた園づくりや人権を尊重し、一人一人に寄り添った保育と豊かな体験活動の実施等、就学前教育・保育の充実に取り組みます。待機児童解消を継続し、多様化する保護者ニーズに応えるために、保育所の整備や新たなサービスの検討、認定こども園への移行を計画的に進めます。

② 子どもの育ちを地域力で支える

各学校園や地域と連携した家庭教育支援活動を推進します。身近な地域において子どもたちがさまざまな体験ができる活動を支援します。

③ 安全で健やかな活動場所の充実

学童保育所や放課後子ども教室等、安全・安心して過ごせる環境を整えるとともに、新たな地域クラブをはじめ、様々な主体と連携した社会教育の取組を進める等、子どもたちが豊かな経験ができる場の充実を図ります。

(2) 子どもを産み・育てることへの包括支援

① 妊娠・出産・育児期のきめ細かな支援

出産・育児に関する不安等への支援を早期に行うとともに、子育て中の親子が、遊んだり、悩みを語ったりする場の提供や、地域で子育てを支え合う活動を支援します。乳幼児健康診査、訪問指導、育児教室等切れ目のない育児支援を行います。一時預かり・病児保育等のサービスの拡充に取り組めます。

② 経済的支援の充実

妊娠・出産・子育てにかかる経済的な負担軽減に向けて取り組みます。

③ 子どもの健やかな育ちへの支援

疾病や発達に不安がある子どもに関する相談体制の充実や、関係機関との連携により、早期の発見・治療・療育につなげます。困難を抱える家庭に対して一体的な支援を行います。

(3) 相談体制の充実

① 安心して相談できる環境づくり

子育てや家庭での心配ごとについて、気軽に相談できる機会や子ども自らが相談できる環境を整備します。青年期も含めた子どもが抱える生きづらさや課題について、気軽に相談でき、適切な支援が受けられるよう体制を整備します。

市民や事業者ができることの主な取組イメージ

- 子育て支援に関するボランティアやサポート活動を行う。
- 妊婦や保護者だけでなく、地域住民も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、積極的にサポートする。
- 子育てに悩みを持つ保護者や、ニート・ひきこもり等の当事者や家族に対し、悩みや不安をあたたく受け止め、必要に応じて行政の支援窓口を紹介する等、サポートする。

現状と課題

現状（取組成果）

- ・ 俵口幼稚園・なばた幼稚園において、園、地域住民、保護者との連携による「えん・くろす」を開設し、子どもたちの成長につながる体験活動を進めています。
- ・ 待機児童の解消に向けて、潜在保育士の確保に向けた取組や小規模保育所を中心とした施設整備を進めています。
- ・ 家庭教育支援チーム「たけのこ」が主体となり、生涯学習施設や学校園等でチームメンバーと親子が対話・交流を行うイベントの開催や各家庭への情報発信などの活動を継続しています。
- ・ 学童施設の修繕や改修を適宜行うとともに、指導員の知識や能力の向上のための研修を実施しています。
- ・ みっきランド等では、乳幼児期の保護者の交流の場を提供しています。
- ・ 育児サークルや子育て支援団体と連携して事業を実施するとともに、ファミリーサポート事業の会員数増加に向けた取組を進める等、地域で子育てを支える仕組みを構築しています。
- ・ 産後ケア事業の拡充やオンライン相談環境の整備、こんにちは赤ちゃん訪問等の支援を行っています。
- ・ 妊婦健診補助金額の上限引き上げ等、経済的支援の充実に取り組んでいます。
- ・ 乳幼児健診の未受診者に対して、受診勧奨や現認確認を行い、子どもの健康状態の把握に努め、支援が必要な場合は地区担当保健師等が支援しています。
- ・ 様々な生きづらさや課題を抱えた子ども・若者やその家族に対して、生駒市子ども・若者総合相談窓口（ユースネットいこま）で相談に応じ、自立した社会生活に向けた支援を行っています。



主な課題

- ・ 子どもの健全育成に向けて、コミュニティスクール等の地域主体の多様な事業が実施されるよう、関係機関との連携や支援の強化が必要です。
- ・ 保育士不足に伴い定員まで受け入れられない園が存在する等、引き続き保育士確保が課題です。
- ・ こども園化への移行については、園児の心情や保護者、地域住民の思い等に配慮しつつ、教育・保育の質の向上や、財政負担の軽減も考慮して進める必要があります。多様化する学童保育のニーズに対応するため、保育環境の整備や指導員の確保及び質の向上が必要です。
- ・ 学校部活動の地域移行を見据え、新たな地域クラブを持続可能で安定した運営とするために、実施主体となる団体の体制強化と地域指導者の発掘や育成、クラブ活動場所の確保が必要です。
- ・ 産後ケア事業において、利用希望者の増加に伴う受け入れ施設の更なる拡充が課題です。
- ・ こんにちは赤ちゃん訪問及び新生児訪問事業の継続に向けて、訪問員を確保する取組が求められます。
- ・ ファミリー・サポート事業の拡大・継続に向けては、援助会員の担い手の確保が課題です。
- ・ 社会生活上の困難を抱える当事者や家族が支援につながるよう、ユースネットいこまの更なる周知が必要です。

参考資料

関連する主な分野別計画

生駒市教育大綱、健康いこま21、生駒市障がい者福祉計画、生駒市子ども・子育て支援事業計画

関連する他施策の主な分野別計画

施策の進捗状況を測る代表的な指標

I	II	III
【指標名】 地域子育て支援拠点の利用率	【指標名】 保護者が地域で安心して子育てできるようにサポートしている割合（市民実感度調査）	【指標名】
策定時の値 ●●%	策定時の値 7.7%	策定時の値
目標値 (令和9年度) ●●%	目標値 (令和9年度) 上昇	目標値 (令和9年度)
	【R5.1】	